

国立国会図書館のデジタル化・デジタル 情報収集と大学からの発信情報

国立国会図書館関西館 電子図書館課長
大場利康

平成22年度CSI委託事業報告交流会
「クラウド時代の機関リポジトリ」パネルディスカッション
平成23年6月14日 於・一橋記念講堂



NDLの収集・提供対象となるデジタル情報

アナログ資料から
デジタル化

紙の本から

録音・映像資料から

もともとデジタル

物理的パッケージで流通

ネットワークを通じて流通



デジタル化予算の推移

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21 (当初)	21 (補正)	22 (当初)	22 (補正)
予算	1.1	1.5	2.3	2.5	1.3	0.4	2.3	0.8	1.3	1.3	127.3	1.3	10.0

(単位:億円)

※平成21年度補正予算

平成12年度補正予算で計上以来10年
間分の予算の9倍

14億円

127億円

平成12 13 14 15 16 17 18 19 20 21当初
10年分

21年度
補正要求



学位論文(博士)のデジタル化

- 2009年度～2010年度にかけて実施
- 1991年度～2000年度までにNDLで受け入れたものが対象
- 著作権処理においては、NDLでの利用と学位授与大学での利用を一つの書式に
- 許諾が得られたものは年度内に画像データを各学位授与大学に提供



デジタル版博士論文提供イメージ

NDLで提供

館内(制度・許諾)
+
ネット(許諾)

学位授与大学で提供

各館内(許諾)
+
ネット(許諾)

NDL
がデジ
タル化

各大
学から
収集

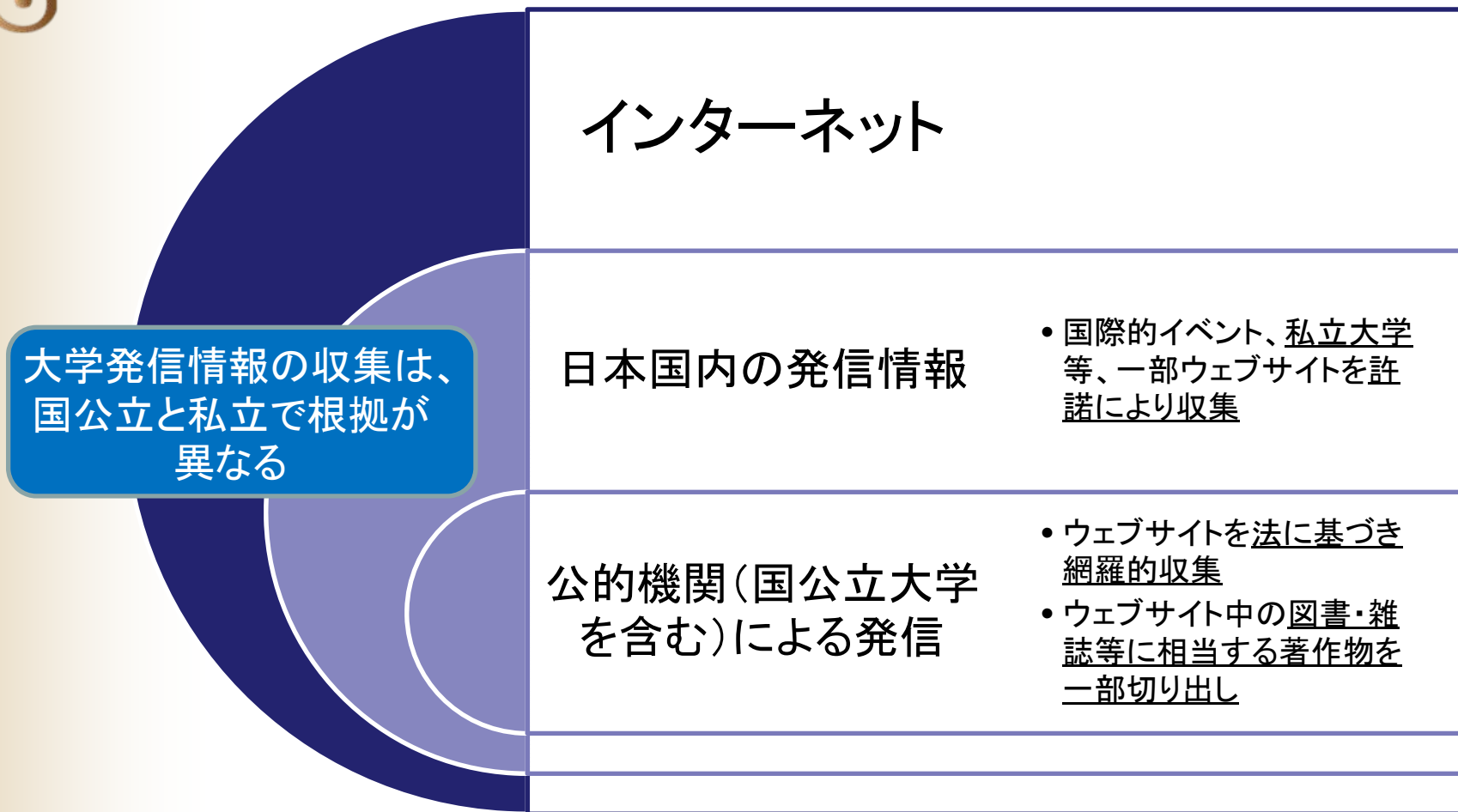
NDL
がデジ
タル化

各大
学でデ
ジタル
化

著者
からデ
ジタル
で収集



インターネットを通じて流通するデジタル情報のNDLによる収集



オンライン資料(電子書籍等)の 収集イメージ

民間の出版社、出版者等

オンライン資料
=インターネット等で
提供される電子書籍、
電子雑誌等

こういう条件で

- 図書、逐次刊行物相当のもの
- 紙媒体のものがあっても収集
- 有償・無償は問わない
- 内容による選別は行わない

【例えば】

電子書籍、電子雑誌、
電子コミック、
ケータイ小説 等



送信

または

自動収集

国立国会図書館

データを
蓄積

利用

館内
(閲覧・プリントアウト)



含まれないもの

音楽・動画配信、ブログ、
ツイッター、ウェブサイト 等

収集の際の検討事項

- 送信に要する費用の補償
- 収集するファイルのフォーマット
- 著作権保護手段解除の問題 等



障害・災害対策と長期保存

障害・災害対策

- 共時的
- 障害・災害による短時間での機器・メディア・データの破壊
- バックアップ作成、データ保存先の多重化、地理的分散化

長期保存

- 通時的
- 技術・フォーマットの変化・陳腐化、機器・メディアの劣化
- 継続的なマイグレーション、エミュレーション



NDLの役割？

- 障害・災害対策
 - 完全なダークアーカイブでは、NDL所蔵資料としての意味づけが困難
 - 制度によらない部分については複製自体に許諾が必要
- 長期保存対策
 - 保存のためのメタデータをどう整備するか
 - データ量が増えるとマイグレーションコストが膨大に